



 **豊島建設株式会社**

会社概要

所在地：岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森61-8

創業：78年

従業員数：39名



現場の1日の流れ



キャリアステップ

入社～1年

先輩社員について仕事をスタート！さまざまな現場を経験し工事・仕事の流れを覚えていきましょう。



2年～5年

先輩社員にサポートしてもらいながら現場を担当。一人で現場を担当すべく資格取得に向けて勉強もしていきましょう。



5年～

一人で現場を担当することが目標です。さまざまな現場を施工し幅広い知識と経験を蓄えていきましょう。

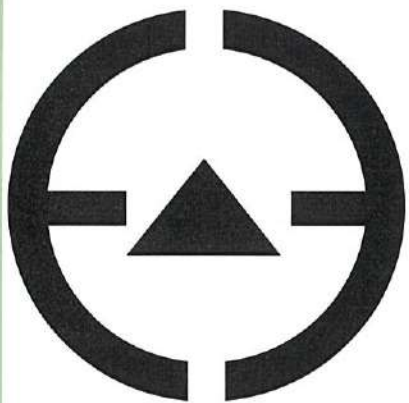


資格取得支援制度

業務において必要となる資格や、スキルアップのために取得する資格について、取得にかかる費用得を当社が負担する制度です。

社員取得実績のある資格

- 1級土木施工管理技士●2級土木施工管理技士
- 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者●職長・安全衛生責任者教育
- 足場組立作業主任者●高所作業車運転技術講習●玉掛け技能講習
 - フルハーネス型墜落制止用器具特別教育
- 小型移動式クレーン運転技能講習●ロープ高所作業特別教育他多数



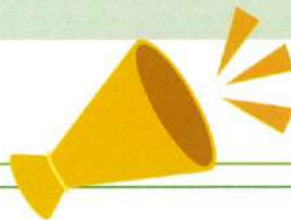
年間休日及び福利厚生・取り組み等

働きやすい環境づくりを目指しています。

- 完全週休二日制、夏期、冬期休暇（令和7年度 年間123日）
- 福利厚生 雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金
企業年金、退職金制度、保養所（温泉付きマンション1室）
- 「いわて健康経営事業所」「いわて産業人材奨学金返還支援制度」
「いわて子育てにやさしい企業等」「いわて女性活躍認定企業」



入社してみてもどう?? 先輩の声



H19大船渡高校卒
小学生時野球少年
マクナルド杯岩手県優勝の経験あり
現在も社会人チームで野球を続け、
趣味としてゴルフ・バスケもする
土木部所属アウトドア派若手社員

休日がしっかり確保されており、仕事とプライベートの両立が図れる点が非常に良かった点です。加えて資格取得に積極的であるため、業務に関連する資格の取得に挑戦しやすい環境が整っています。

多種多様な業種の方々と関わりながら仕事を進めるため、幅広い知識や教養を身につけることができる職場だと思います。



H24高田高校卒
高田高校時代は音楽部に所属。
2年連続で東北大会出場。
校歌の好きな部分は
「日に新しく進みなん。」
総務部所属の若手社員

入社前は建設業は休みも少なく、大変かもしれないと思っていましたが、完全週休二日でとても驚きました。道路維持（資料11ページ参照）や融雪剤の散布など皆さんが生活するための環境を整える仕事をしているのを見て重要な役割を担っているなど日々感じています。私は現場職ではありませんが現場の皆さんが仕事をしやすいように自分の仕事をこなしています。若手が少ない業界なので若い人たちに是非、建設業の事を知っていただきたいと思っています。

土木部 施工例



丸森道路改良工事



気仙川水門



恋し浜トンネル



野外活動センター

鉄道部 施工例



雫石川橋梁補修工事風景



仙北駅エレベーター

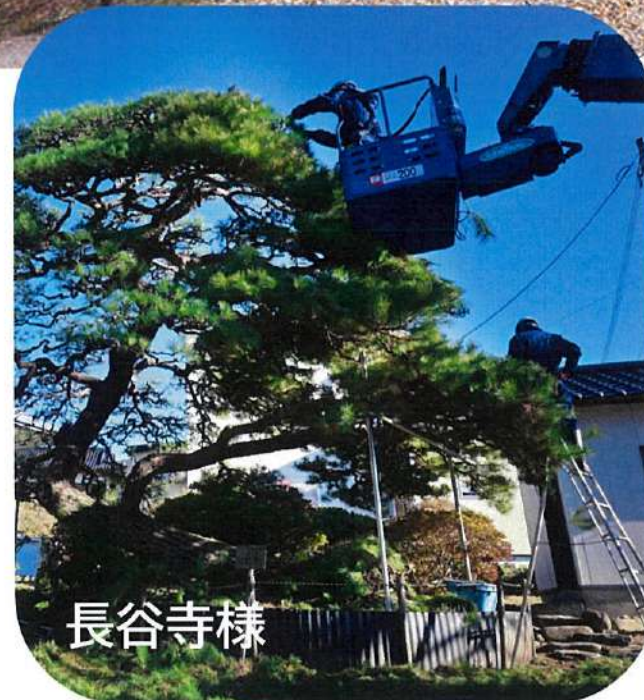
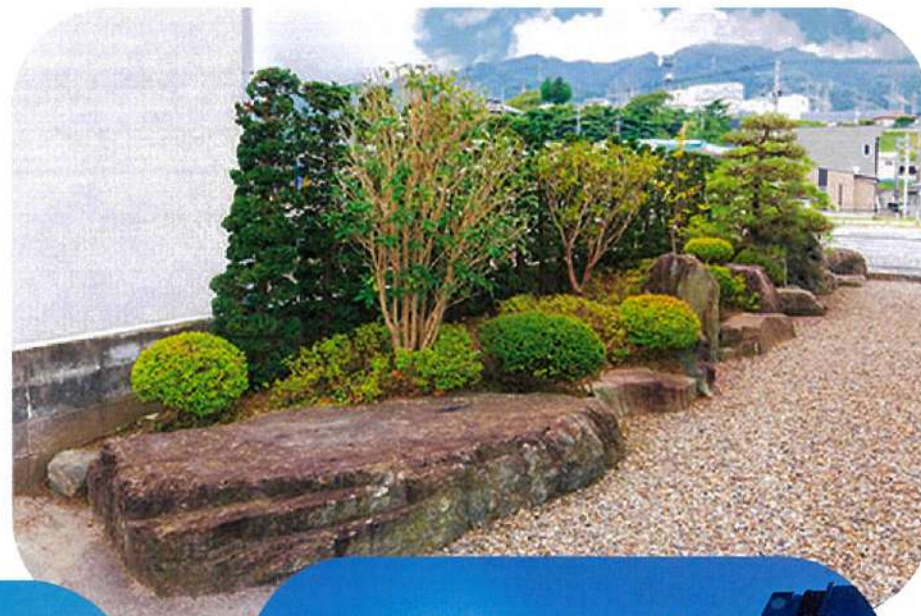


田谷川橋梁補修工事風景

造園部 施工例



リアスホール植栽工事



長谷寺様

建築部 施工例

大船渡市防災センター



東京屋様



崎浜制御所



仙華園様

道路維持作業って?!

皆さんが生活する中で
道路を塞いでしまっている折れている木を見たことがありますか？
また雪が降る道路に融雪剤(雪を解かす粒)をまいているのを知っているでしょうか？
あれは建設業従事者がおこなっています！
建設業従事者は地域の守り手でもあるんです！



木が倒れてしまうと道路を通ることができなくなるのですぐに処理が必要になります
チェーンソーなどで細かく切断して処理をします！

ある社員の1日

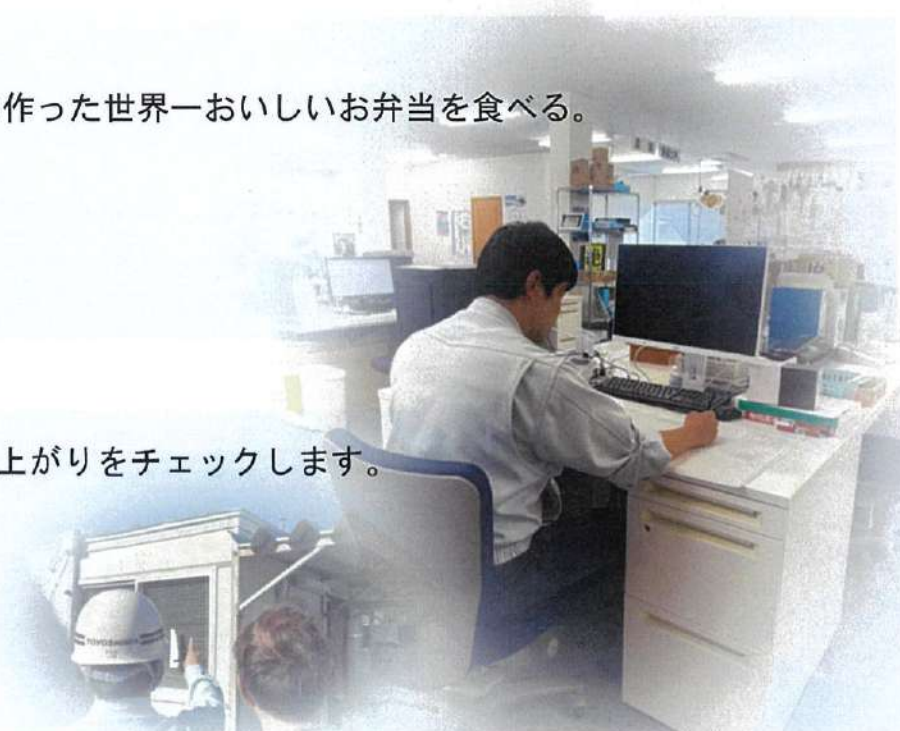
建築部・建築士



- 8:00 出社 メールチェックと今日のタスク整理！
- 8:30 ミーティング コーヒーを飲みながら雑談も(^▽^)
- 9:00 プランの検討・図面作成 CADで図面を書いたりスケッチで間取りのアイデアを出す。
- 11:30 クライアントへの提案資料作成
- パース（イメージ図）や図面をまとめる。プレゼン用の資料をカッコく整えます！

- 12:00 お昼 「お昼にしませんか」の号令と共に、お昼休憩妻の作った世界一おいしいお弁当を食べる。
- 12:20 資格取得に向けてお勉強
- 12:50 少しお昼寝

- 13:30 現場へ移動 図面の通りに進んでいるか安全面や仕上がりをチェックします。
- 16:30 事務所に戻る
- 現場で気づいた点を図面等に反映！1日ですすんだ事を記録します！
- 17:00 退社 明日も頑張ります！



これからの建設業

これまで、設計図（2D）を見ながら、職人さんが勘と経験を頼りに地面を掘ったり測ったりしていました。しかしICT工事は、「現場を丸ごと3Dデータ化し、ラジコンや自動運転の感覚で巨大な重機を動かすモノづくり」になっていきます。

信じられないかもしれませんが現場にいなくても仕事ができる未来が現実になりつつあります。将来的には、涼しいオフィスからリモートワークで遠く離れた現場の重機を動かすことになるのです。

泥臭い仕事からカッコいい、最先端の仕事へ！

ヘルメットにスマートグラス（ARゴーグル）をつけ、タブレットを片手に指示を出す。これからの建設業は、テック系・IT系の職種に近くなっていきます。

工程	これまで（アナログ）	これから（ICT）
① 測量（測る）	人が歩いて何日もかけて長さを測っていた。	ドローンを飛ばして、数分～数時間で地形を丸ごと3Dデータにする。
② 施工（造る）	熟練の職人さんが、少しずつズレがないか確認しながら重機を操縦していた。	自動運転（マシンコントロール）。ナビ付きのショベルカーが、設計図のデータ通りに自動で動く（初心者でもプロ並みに掘れる！）。
③ 検査（調べる）	完成後、たくさんの書類や写真を作って役所に提出していた。	完成形を再びドローンなどで3Dスキャンし、データ同士を重ね合わせて一瞬で合格か確認する。

今の建設現場って、みなさんがやってるスマホゲームの技術や、ドローンの技術がそのまま使われているんです！

今日のお話を聞いて、少しでも会社や仕事に興味を持ってもらえたら嬉しいです！

ご清聴ありがとうございました。
是非ホームページもご覧ください！

豊島建設株式会社

